

2025年度西洋史研究会大会プログラム ***改訂版**

日時：11月15日（土）、16日（日）

会場：東洋大学白山キャンパス5号館地下1階5B12教室・ZOOM併用のハイブリッド開催

※報告者は対面会場にて報告予定です。

○11月15日（土）14:00～17:00（各報告45分、質疑応答15分）

【自由論題】

「アクティウムの海戦の記憶の形成」 岡本幹生（京都大学・院）

『『マーシアの女主人』エセルフレド(r. 911-918)の支配権継承戦略』 内川勇太（東京大学）

「19世紀末東ガリツィアにおけるシオニストと同化ユダヤ人の「人種」論争
—アルフレート・ノシヒ『ユダヤ人問題を解決する試み』に対する新聞『祖国』の批判を史料として—」
新井陽大（早稲田大学）

総会 17:00～

懇親会 18:30～

会場：イタリアンレストラン・ビアンカ1992（文京区向丘1-10-3 肴町旭ビル2F 03-5844-6778）

会費：6,500円

○11月16日（日） 10:00～17:00

【共通論題】「『つながる奴隷制』と奴隷解放 — 地中海型奴隷制のゆくえ」

司会 清水和裕（九州大学）・高橋秀樹（新潟大学）

趣旨説明 10:00～10:10 「地中海型奴隷制とは何か」 清水和裕

基調報告 10:10～12:45（各報告35分、報告間休憩5分）

「古代環地中海社会における奴隷制——メソポタミア、エジプト、ギリシア、ローマ」 高橋秀樹

「初期・中期イスラーム社会の『奴隷』・隷属と環地中海社会」 清水和裕

「つながる奴隷制——近世ポルトガル世界を事例として」 疇谷憲洋（大分県立芸術文化短期大学）

「南北アメリカ大陸の近代奴隷制——奴隷制廃止から現代奴隷制への道程」 貴堂嘉之（一橋大学）

昼食休憩 12:45～13:45

ラウンドテーブル 13:45～15:30

休憩 15:30～16:00

質疑応答・全体討論 16:00～17:00

※共通論題は科学研究費基盤研究A「『奴隷制の想像力』—地中海型奴隷制度論の動態的検討—」との共催です。

参加登録（参加費無料。以下のグーグルフォームからご登録下さい。QRコードからもアクセスできます。）

<https://forms.gle/16QvJiiRWrY6fKQ8A>



主催：西洋史研究会

〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科内

Tel/Fax 022-795-6054 e-mail: sei-yoshi@g-mail.tohoku-university.jp